



# 核兵器のない世界の平和と安全を 2011原水爆禁止国民平和進行

5/28(土)2011原水爆禁止国民平和進行が和歌山市に入り、市役所ロビーで出発式を行いました。出発式では、昨年原水禁世界大会・広島に参加した、生協病院職員の幸前さんが発言しました。幸前さんは、「福島原発では、今まさに放射能による被爆の恐怖にさらされています。65年前、戦争によって被爆国となった日本が、次は自己被曝という現状に置かれ、その事実は日本だけでなく、世界各国が平和に向けて、多方面から考え直す時期に直面していることは、毎日報道から伺えます。しかし、この大震災では、一人ひとりの小さな思いが、集結することで大きな力になる事を確信したのは、大きな学びでもあります。本日の平和進行の様な草の根活動が、平和に向けて大きな力になりうる事を願い、この後の平和進行に参加させて頂きたいと思えます。」とのべました。集会後、参加した約200人が、市役所からぶらぐり丁界隈を「核兵器全面禁止」「政府は国民を放射能汚染にさらすな」とアピールしながら、行進しました。



## 紀美野町の平和行進に、げんき職員が参加



5月27日(金)午後5時30分、紀美野町役場前から平和行進を行い、総合介護支援センターげんき職員が参加しました。雨の中、紀美の町役場の玄関ポーチで約50名の参加者が集まり、原水協の白井さんの挨拶と決意表明、町長さんからもメッセージが送られ、市民生協、教職員



組合の方々それぞれ挨拶を行いました。行進は、現地の実行委員会の意向で希望者のみ参加となりましたが、全員参加し、小降りになった雨の中、元気に行進を行いました。



## 伊都・橋本「高齢者のつどい」で健康チェック

5/22(日)橋本市の橋本小学校で、伊都・橋本高齢者のつどいが開催され、医療生協から職員3名が参加し、健康チェックを行ないました。長寿を喜び、長寿を生かして、長寿を楽しもう!と、絵手紙や手芸などの「趣味のコーナー」や、腹話術、オカリナ演奏などの「地域の活動と文化交流」がおこなわれました。健康チェックは、34名が受け、「日頃は骨密度なんか調べたことないから、調べてもうてうれしいわ」との声もよせられました。

和歌山市高齢者運動連絡会 第13回学習会

### 「原発・電力問題を考える」

3月11日に発生した東日本大震災は、宮城・岩手・福島3県を中心に甚大な被害をもたらしています。「安全神話」を突き崩す東京電力福島原発事故が加わり、深刻な事態です。全国で被災者支援の活動がとりまかれています。と同時に、防災対策、原子力政策・エネルギー政策の見直しが必要になっています。そこで今回、原発・電力問題の学習会を企画しました。各団体の東日本大震災支援活動の交流も行い、今後のとりくみに活かしていければと考えます。どなたでもご参加いただけます(無料)。

○と き 6月2日(木)午後1時30分～3時30分

○と ころ 和歌山市中央コミュニティーセンター2階活動室(2)

学習: 「原発・電力問題を考える」 講師: 松下 義和 氏

各団体の東日本大震災支援活動の報告・交流も行います。

主催/和歌山市高齢者運動連絡会 和歌山市有本143-1 医療生協気付 TEL474-5990

## 豊かな支部活動をめざして 支部長会議

支部として班活動を援助しましょう  
支部内に10班の活動班をつくりましょう



と き 6月7日(火)午後2時～4時

と ころ 生協病院5階会議室

参加対象 各支部支部長、副支部長 (複数参加で)

組織・組合員活動推進本部委員

主催:和歌山中央医療生活協同組合・組織組合員活動推進本部